

第50回 メディアとことば研究会

メディアの中の政治とことば

—市民に開かれた〈やさしい政治のことば〉の創発に向けて—

2018年3月9日(金)

10:30–12:35 (10:00 受付開始)

場所：早稲田大学 26号館 702室

主催：メディアとことば研究会

後援：日本言語政策学会

参加費無料

「メディアとことば研究会」HP

<http://www.hituzi.co.jp/kenkyukai/media-kotoba.html>

※参加ご希望の方は、メディアとことば研究会事務局 medialalala**gmail.com (**は@)まで、お名前・ご所属をお知らせ下さい。

準備の都合上、3月7日(水)までにご連絡下さい。(当日の飛び入り参加も歓迎します。)

プログラム

10:30 – 10:35 挨拶

10:35 – 10:55 発表 依田恵美氏

10:55 – 11:05 質疑応答

11:05 – 11:15 休憩

11:15 – 12:00 講演 札埜和男氏

12:00 – 12:10 参加者自己紹介

12:10 – 12:30 全体議論

12:30 – 12:35 次回の予告、終了

企画趣旨：2009年5月に裁判員制度が施行され、法言語の理解は、必要不可欠な市民リテラシーとなった。しかし、未だに法律用語は難しいという印象を持つ人は多い。また、テレビ中継される国会審議やメディア報道において、法言語の難解さや曖昧さに対する言語学上の課題は増加している。

このような社会状況をふまえ、政治のことばの特徴を、政治マンガの役割語に焦点をあて捉えた上で、法言語の特徴と国語教育における法言語教育の実践をご紹介いただき、市民に開かれた〈やさしい政治のことば〉のあり方について共に議論を深めたい。

○研究発表
発表題目 依田恵美氏 (神戸学院大学 講師)
役割語から見た政治マンガと「シン・ゴジラ」

○講演
題目 話しことばへのアプローチ
ふだのかずお
札埜和男氏 (岡山理科大学 准教授)
「国語科に法言語教育を取り入れる意義
—市民性教育としての法言語リテラシー—」

ひつじ書房 新刊



話しことばへのアプローチ 創発的・学際的談話研究への新たなる挑戦

鈴木亮子・秦かおり・横森大輔編 定価 2,700円+税

近年、書きことばに基づく理論では説明できない「話しことば」の諸現象が注目を集めている。書きことばへの偏向から脱却し、言語研究を新しくする1冊。キーワード解説付き。

〒112-0011 東京都文京区千石 2-1-2 大和ビル 2F

TEL: 03-5319-4916 FAX: 03-5319-4917 toiawase**hituzi.co.jp (**は@)

ひつじ書房

